



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2015年(平成27年)1月15日号 No.1649

目次

■ 2015年ロシア経済の焦点	1
■ モスクワほっとニュース	6
古き良きモスクワの散策(2):クズネツキー・モスト通り/6	
■ 統計速報	8
2014年1~11月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績/8	
2014年1~11月の日ロ貿易/9	
2014年のロシアのインフレ率は11.4%/10	
■ キーパーソン	11
ウズベキスタンで議会選挙実施/11	
ベラルーシで大掛かりな政権人事/11	
■ エトセトラ	13
ROTOBO月例報告会「ウリヤノフスク州経済と外国投資動向」/13	
国際セミナー「ロシア北極圏の持続的発展」のご案内/13	
■ トピックス	14
センコン物流、ロシア向け食品輸出を拡大/14	
フジクラがロシアに製造販売子会社設立/14	

2015年ロシア経済の焦点

はじめに

2013年からロシア経済の減速傾向が見られていたところに、2014年に入ってウクライナ危機、西側諸国の対ロシア制裁、石油価格の低下、そして通貨ルーブルの下落と、悪い材料が重なった。ロシアは2015年を、かつてない先行き不透明感の中で迎えることになった。

そこで速報の今号では、2015年のロシア経済を占う材料となりうる資料を抄訳してお届けする。紹介するのは、昨日1月14日にD.メドヴェージェフ首相が行った演説の要旨、昨年末にA.グドリン元副首相・蔵相が開いた記者会見の様相、そして政治評論家T.スタノヴァヤ氏のコラムである。

メドヴェージェフ演説

昨日1月14日、モスクワにおいて、「ガイダル・フォーラム」という経済フォーラムが開催された。この催しに、D.メドヴェージェフ首相が出席し、基調的な演説を行っている。2015年のロシア政府の経済的舵取りを見極める上で重要な内容なので、以下ではまずこのメドヴェージェフ演説の主要部分を抜粋して紹介する。